



プロジェクト名称

## 空き家改修プロジェクト

### プロジェクト活動概要

2011年3月11日。東日本大震災で日本全体が大打撃を受けました。その際、地方コミュニティの希薄さが顕在化し、解決策の一つとして、「みんなの家」がつくられ地域コミュニティの一躍をかうこととなりました。

これは東北だけでなく、今後の日本ではどこにでも起こりうる事態であると考えました。そこで、

今回のプロジェクトでは、トラフ南海地震のおそれのある中部地方に目を向け、大地震が起こる前にコミュニティを事前に形成するのを目的とする「事前みんなの家」を、同時進行する別の問題である「空き家問題」と関連させて解決していくための「空き家改修プロジェクト」を実施します。

活動状況報告&活動写真など 活動期間：2014年6月1日～9月30日

敷地として静岡県東伊豆町を対象としました。町の人口低下が重大な問題になっており、同時に空き家が増加しています。町長との話し合いで空き家を一件紹介して頂き、改修を行いました。活動期間は5～9月の5ヶ月間でした。

まず、空き家の実測調査を行い、破損箇所を確認しました。また、この建物に求められていることを調査する為、まちの人に話を聞き、基本設計へ移りました。解体を終え、細かな寸法を計測し、実施設計を行いました。



施工は学プロメンバーで合計9日間をかけ実施しました。途中、地域の方を交えたワークショップを行い、小学生を中心に一緒に活動することが出来ました。



9月18日に竣工し、現在は町へと引き渡し、地域の方が利用できる状況となっています。





### 今後の活動計画、目標、意気込みなど

今回改修した空き家は今年度の活動で終わるのではなく、今後東伊豆町で我々空き家改修プロジェクトのチームがイベントや新しく空き家を改修するときの拠点としていきます。

その際に、実際にまちの人による使われ方を見ることで、それにあった修繕やイベントの提案をしていくことが空き家改修プロジェクトのチームと東伊豆町の地域の人とが関わっていくうえで重要だと考えます。

また、東伊豆町からは次の空き家改修を期待されており、具体的な設計から企画まで町に対して提案していくことで、まちと一緒に地域を盛り上げていくことが我々空き家改修プロジェクトの次の目標です。

今回の学生プロジェクトで掴んだ手ごたえや、地域との関わりは学生生活の中でも濃密なものでした。その反面、反省点もあり、今後自分たちなりの空き家対策を模索し、東伊豆町に留まらず他地域での活動や関わりを視野に入れ、体制や情報発信にも力を入れていきたいと思えます。

